

「みどりの保育園」推進事業第三弾！！

「チョッキン草刈隊」盛大に開催

梅雨の合間の好天に恵まれた6月25日(木)平成21年度やまがた緑環境税を活用した「みどりの保育園」推進事業の第三弾「チョッキン草刈隊」が開催されました。

当日は酒田市の西荒瀬保育園の年長児25名とその保護者25名、活動の支援として地元の庄内森林管理署、庄内支庁森林整備課、酒田市、やまがた公益の森支援センター、あさひむら観光協会、NPOや森林ボランティア団体等20名の総勢70名が参加し、平成19年に植栽したクロマツ造林地の下刈り作業を行いました。

日程は西荒瀬保育園からクロマツ造林地まで、園児達と一緒に野外観察を行いながら歩いて移動し植栽木の下刈り作業を行い、帰りも野外観察をしながら保育園に戻るものです。

現地では主催者を代表して当センターの所長が挨拶を行い、引き続き作業の必要性についてパネルを使って園児達に説明しました。

「チョッキン草刈隊」の名前の由来は、園児達に鎌を使っての下刈り作業は危険なので、普段から使い慣れているハサミにより、植栽木周辺を刈り払う「坪刈り」からきています。

今回は親子体験型の活動であり、園児達の「坪刈り」で残った草木は保護者達の鎌による刈り払いで綺麗に仕上げ作業を行う様に計画しています。

保護者の作業時には危険なので園児達を広場へ移動させ、広場から「お父さん！！お母さん！！頑張って！！」と声援を送ると、保護者達も声援に応えようと汗だくになって鎌作業を行っていました。

作業の途中では、3年前に植栽木につけたネームプレートから園児の兄の植栽木が判明し親子で感激を新たにするなど、思わぬ発見もありましたし、保護者達からも画期的な活動であるとの高い評価を頂いています。

また、今回の下刈り作業のサポートとして参加された支援者からも、園児や保護者と一緒になって作業に加わり安全確保や作業方法を指導して頂いた結果、事故もなく無事に終了することができました。

今回の活動については地元の山形新聞にも記事が掲載され、就学前の幼児の環境教育として取組が紹介されています。

当センターでは引き続き年間プログラムに添って、西荒瀬保育園と連携して幼児のための森林環境教育の推進を行うことを予定しています。



勢揃いした「チョッキン草刈隊」参加者の集合写真 § 皆さんがんばりましたよ §